

●福助花壇・ドーム菊

福助作り



大菊を5号鉢でコンパクトに育て、しかも大作り（大菊）に負けないくらい大輪の花を咲かせる方法（1本1輪仕立て）が福助作りです。

また、その姿が福助人形に

そっくりなことから福助作りと称されています。



★福助作りの理想像

20cm以上の大鉢なみの巨大輪を咲かせること

4.5cm以下



1点に集中して整然と咲く

10cm以上高く盛り上げる

手のひらくらいの大きさ



ドーム菊



嵯峨菊



ダルマ菊

● ドーム菊（左）

日本の菊が外国に渡って改良され、再導入されたものです。

摘芯をしなくとも自然に芽止まりして分岐を繰り返し、半球型のドーム状に花でうずまるところから名がつきました。

苗を植えておきますと、自然に丸く育ちます。

● 嵯峨菊（中央）

京都で発達した種類です。

細い長い舌状花がねじれた形でくり出し、一度平らに咲いてから花芯を包むように花びらが真っすぐ立ち上がり茶筅状となります。

開花期に下葉が枯れ、その上の葉が紅葉し、上部の葉は緑を保つように仕立てて、一鉢で春夏秋冬の四季に目立てた姿です。

● ダルマ菊（右）《だるま作り》

一般的の3本仕立てに劣らぬ豪華さを備えながら、場所を取らず、しかも短期間で仕立てられるのがだるま作り（3本仕立て）です。

鉢は7号鉢で、背丈が鉢底から花首まで60cm以内と、コンパクトな仕立てとなっています。